

北多摩西地区



2014.9.30 第102号 保護司会報

発行者 北多摩西地区保護司会
会長 森久保 康男
編集 広 報 部



ひまわりガーデン武蔵村山

村山団地に咲く太陽の花“ひまわり”（広さ3.7ヘクタール）
今年の5月10日に市民ボランティア500名と市の協働でハイブリッドサンフラワーとサンゴールドの種を蒔きました。7月12日～8月15日の開園期間中には8,000名の来場者がありスタンプラリーやフォトコンテストが行なわれました。

目次

あいさつが行き交うまちに.....	1
第64回社会を明るくする運動 立川分区.....	2
第64回社会を明るくする運動 昭島分区.....	3
第64回社会を明るくする運動 国立分区.....	4
第64回社会を明るくする運動 東大和分区.....	5
第64回社会を明るくする運動 武蔵村山分区.....	6
多摩連情報・サポートセンター.....	7
会務報告・保護司の異動.....	8



あいさつが行き交うまちに

東大和市長

尾崎 保夫

北多摩西地区保護司会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素より「犯罪のない明るいまちづくり」に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年の急速な少子高齢化・核家族化の進展や社会経済状況を背景に、犯罪や非行の多様化、複雑化が懸念されております。とりわけ高齢者や子どもなどへの虐待、危険ドラッグ等の薬物に絡む事件や青少年を巡る凶悪な犯罪が数多く発生しており、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会の実現が一層重要となっております。

このような中、貴会におかれましては、保護司の皆様が一丸となり、日頃から様々な活動に取り組みられています。罪を犯した人々の更生を助け、速やかな社会復帰を促す地道な働きかけや、犯罪のない社会を築くための取り組みとしての「社会を明るくする運動」等、今まで積み重ねてこられた公共の福祉に寄与する活動に対し、改めて深く敬意と感謝の意を表すものでございます。

今年も7月に、社会を明るくする運動の一環として、「あいさつと思いやり」をキーワードにした市内中学生の意見発表が行われました。学校生活での体験や取り組みから感じた「あいさつの大切さ」が伝えられ、中学生の豊かな感受性と志の高さに、とても深く感銘を受けました。いづれもすばらしい意見発表を聴き、「あいさつ」のもつ力と、それにより育まれる互いの絆を強く感じたところでございます。次代を担う子どもたちの「将来に夢と希望を持てる社会」を創っていくことは、今を生きる私たち大人の責務であることを改めて認識いたしました。

今後とも犯罪や非行のない地域社会を築くため、保護司の皆様引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

第64回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

立川 分 区



7月 立川駅駅頭パレード



2年生 岡田英里香さんの作品



早朝より多くの参加者で



立川子ども未来センターにて



立川市長を先頭に

昭島分區



社明昭島市大会の様子（昭島市役所ロビー）



高校野球西東京大会予選会場での広報活動



駅頭での一斉広報活動（拝島駅）



昭島くじらまつり会場で



昭島市大会社明コンサート（市民ホール）

国立分區



7月20日(日)音楽・パフォーマンス祭
小・中・高校生合わせて226人が出演。
(くにたち芸術小ホールにて)



手あそびコーナー ミサンガづくり



熱血先生の講演会
(くにたち福祉会館にて)



ギャラリー展

—中学生の意見発表とDVD上映会—

—笑顔のあふれる明るい社会にするために、私たちができること—

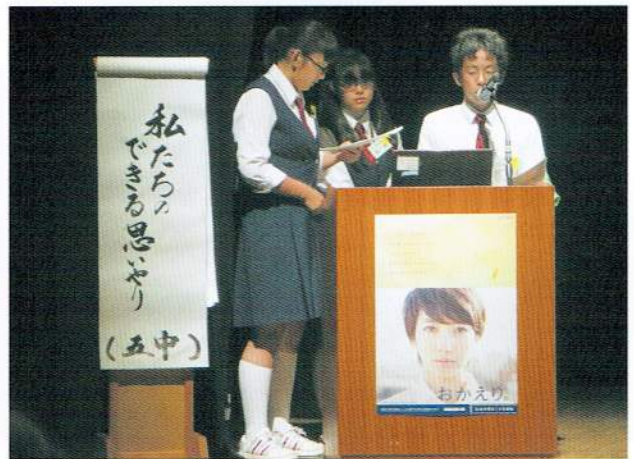
東
大
和
分
区



意見発表者と実行委員全員の紹介



中学生の意見発表



中学生の意見発表



発表者と実行委員へ感謝状贈呈



実行委員の受付け風景

DVD「シュガーラッシュ」上映で、小学生以下のお子さん・家族も楽しむことができました。中学生の活躍が光った会でした。

武蔵村山分区



開会式 推進委員長挨拶



武蔵村山市少年少女合唱団



街頭広報



市内中学生参加の街頭広報



作文コンテスト入賞者発表

多摩連情報

多摩連理事会開催

平成26年5月27日(火) 多摩地区保護司会連絡協議会理事会在、東京保護観察所立川支部会議室において開催され、各地区から理事約70人が参集しました。

平成25年度事業報告、収支決算報告、26年度事業計画、収支予算の審議・承認が行われ、新年度の活動が本格的にスタートしました。

第33回多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典開催

7月4日(金) 東京地方検察庁立川支部大会議室において、第33回多摩地区更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。

本年度の受賞者は125人1団体(保護司48、更生保護女性会員62、保護司会事務担当者7、BBS会員8、協力雇用主1)

第2部は、更生保護施設「紫翠苑」施設長名取雄三氏の「紫翠苑の処遇」と題した講演が行われました。

◆西多摩地区保護司会との役員交流会開催◆

9月20日、東京の奥座敷、奥多摩の「荒澤屋」において、第2回西多摩地区保護司会と北多摩西地区保護司会の役員交流会が開催されました。

紅葉には少し早かったが、秋晴れの爽やかな日に29人が参加、和やかな内にも実りある情報交換ができ、収穫の多い交流会でした。



北多摩西地区保護司会 更生保護サポートセンター

サポートセンター貸主の名称が平成26年6月4日をもって更生保護法人安立園と合併したことにより、変更になりました。

旧 更生保護法人「八興社」 新 くにたち安立

◎くにたち安立(前八興社)恒例の《そうめん流し》に企画調整保護司の私たちも参加させていただきました。8月24日早朝より高野理事長の下、くにたち安立関係者や寮生たちによる《そうめん流し》の準備を皆さんに混じり、行いました。寮生たちも皆さん方の指示に素直に従い、調理や配膳を手際よく行っていました。

幸い天候に恵まれ、寮生らと共に流れてくる《そうめん》を挟み取り、揚げたての天ぷらや野菜を糧に麺をすすりながら、真夏のひと時を楽しく過ごすことができました。

◎また、8月28日には、武蔵村山市の保護司・更女の26人の来訪がありました。くにたち安立については木村施設長から説明を受けられました。サポートセンターについては、武蔵村山分区の企画調整保護司の方から説明をしていただきました。

武蔵村山市の皆様↓



そうめん流し→ くにたち安立



活用状況 (26/6~26/9)

月	駐在員数	来訪者	備考
6月	37人	保護局関係職員 初等科研修 研修員の見学47人	6/23
7月	34人		
8月	33人	武蔵村山市保護司会 ・更生保護女性会	
9月	17人		9/16 現在

会務報告

(平成26年6月～9月)

常務理事 粕谷 勝榮

◎理事会 (26年度)

△第2回 7月25日

国立市役所第1・2会議室

○「一般地域活動参加保護司名簿」・「学校との連携活動保護司名簿」の提出について

○東京更生保護事業関係者顕彰式典について

ほか 6議題

△第3回 9月16日

国立市役所第1・2会議室

○「第七ブロック保護司組織運営協議会」について

○更生保護制度記念第36回関東地方更生保護大会について

○立川拘置所主催「立川あすなろフェスタ」後援について

○武蔵野ダルクへの助成について

◎専門部会活動

○総務部会

○地域活動部会

○研修部会

○広報部会

○学校との連携委員会

3回

2回

3回

5回

2回

◎第I期地域別定例研修

立川会場 6月4日

昭島会場 6月17日

東大和会場 6月23日

補講立川支部会場 7月10日

研修課題 「生活環境の調整」

計143人受講

平成26年度 第I期地域別定例研修出席状況

現員数(6月末現在)	三会場(人)	補講(人)	計(人)	出席率(%)	
立川分区	51	40	4	44	86.3
昭島分区	36	31	1	32	88.9
国立分区	22	20	2	22	100.0
東大和分区	24	23		23	95.8
武蔵村山分区	24	20	2	22	91.7
合計	157	134	9	143	91.1



△保護司の異動△△

○退任保護司(満年齢退任)

平成26年8月31日付

立川分区 皆川 淑子氏

○再任保護司

平成26年9月1日付発令25人

立川分区 9人

昭島分区 7人

国立分区 2人

東大和分区 1人

武蔵村山分区 6人

○新任保護司

平成26年9月1日発令 3人

昭島分区 石川 英次氏



国立分区 石田 稔和氏



国立分区 大島 克己氏



国立分区

訃報

平成26年6月20日

中村 秀市 殿(立川分区) 享年68歳

生前のご功績を偲び、謹んで

ご冥福をお祈り申し上げます。

◆編集後記◆

「暑さ寒さも彼岸まで」のことわざ通り、猛暑の夏もお彼岸に入り一気に秋めいてまいりました。みなさまには、御健勝にてご活躍のことと存じます。

第102号は、各分区の「社会を明るくする運動」の活動状況を集めました。

それぞれに特徴のある運動を展開していますが、共通していることは、小・中学生の参加・活躍が年々増加していることです。彼らの活動は、まさに非行や犯罪のない明るい社会を築くという運動の趣旨そのもので、大変すばらしいことだと思えます。関係者の皆様のご努力・ご協力に感謝します。大変お忙しい中、ご寄稿、写真を提供して頂いた方々に感謝します。ありがとうございました。

(編集部)